

運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 大垣北高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和8年1月22日 (木) 13:30~15:30
- 3 開催場所 大垣北高等学校会議室
- 4 参加者

会長	田村 弘司	元岐阜県教育委員会教育次長 元岐阜県高等学校長協会 会長
副会長	安藤 光男	本校 同窓会会長
委員	伊藤三枝子	清流の国ぎふ女性防災士会会長
	種田千佳子	(株) 種田石油店 代表取締役社長
	原田 理人	岐阜協立大学 学長
	牧岡さつき	大垣市男女共同参画推進室 室長
	山田 治美	大垣市立北小学校校長
学校側		
	酒井 猛	校長
	寺倉 新一	事務部長
	曾根 章好	教頭
	松野 智博	教務部長 (教務主任)
	足立 郁子	進路支援部長 (進路指導主事)
	中島 啓	生活充実部長 (生徒指導主事)
	安倉 健司	図書情報館部長
<欠席者>		
委員	兒玉 榮一	本校同窓会 前会長
	吉田 孝博	大垣北高校育友会会長
学校側	近藤 健二	探究推進部長

5 会議の概要 (協議事項)

(1) 「令和8年度 自己評価・学校関係者評価報告書」について

意見1：中学校で使用していたヘルメットは経年劣化する。ヘルメットの耐用年数を考慮し、安全のために新調することで着用率の向上につながる。また、上級生がヘルメットをかぶらないと下級生も真似をする。

⇒ヘルメット着用が努力義務になって3年目である。年度当初に、中学校で着用していたものも含め、ヘルメットの所持を確認している。経年劣化することについて大変参考になった。

意見2：書籍は重いので、生徒が教科書に加えて読書用の書籍まで持つのは大変である。電子書籍を紹介して、その貸し出し数も読書データに含めてはどうか。

⇒本校の図書館の蔵書は、紙の書籍のみである。今年度1冊も本を借りていない生徒が増えた。二極分化している。県立図書館のデジタルサービスが始まっており、アカウント登録しているが、本校の貸出数には含まれていない。貸出数を増やすことを目的化せず、その先にあるものを大切にしたい。

意見3：学習成果発表を見て、調査分析能力やプレゼンテーション能力が非常に高い。生徒は安心

して力を発揮しているように見える。クラスだけでなく部活動等の課外活動の集団の中にも居場所がある。外部機関と連携しながら、能力の高い生徒の力を引き出している。

意見 4 : いじめや不登校をなくすための取組みとして、スクール相談員やスクールカウンセラー、外部機関との連携を積極的に進めている。義務教育においても多岐にわたる支援に取り組んでいるが、アンケートの実施や組織的対応など、高校でもこれだけ丁寧に支援・指導しており、学ぶところが多かった。

意見 5 : 本年度の目標と評価については、ほぼ問題がない。今回、課題とされたことについてもイベント風な対策をとるだけですぐに目標を達成できる。

意見 6 : 水資源フォーラムでの発表をはじめ、生徒の活躍は至る所で目にする。大垣北高校は平均的な力が高い。北高が北高であるために必要なものは何かを考えるべきである。先般開催されたギフコンバレーの際に、某高校の生徒の発表に対して本学の理事長でもある地元企業の会長がすぐに支援を申し出た。大垣北高校も素晴らしい素養を持っている生徒が多い。どの大学に何人合格したということよりも、生徒の面白い突出した研究を地元の優秀な方々の支援を受けることによって地域連携につなげると、もっと生徒の輝きが増すはずだ。

意見 7 : 大垣北高校では、大学に入学させればよいというような姿勢では教育をしていない。大学入試を取り巻く状況も大きく変わってきており、AIの能力の向上も著しい。それに対応するのは大変である。ただ、生徒自身や保護者の将来計画もあり、どのように対応していくかを考えることは難しい。

意見 8 : ヘルメットに加えて道路交通法の改正や青切符についても指導をしていただきたい。

意見 9 : インターネットを通じて行われるいじめについては外部の専門家がサイトを確認しているのか。

⇒インターネットのサイトを県教育委員会のネットパトロールが監視している。

意見 10 : 生徒が心療内科を受診した時の対応について知りたい。企業でも悩んでいる。

⇒生徒・保護者の意向に沿って、状況に応じて関係教職員の間で情報共有を行い、対応を協議し行動連携に努めている。

意見 11 : 「探究の日 2025」のポスター発表において、防災の観点からすると、大変素晴らしい着眼点をもった発表が2つあった。1つは、お菓子で野菜の栄養素を補うことによって、命を守る研究であり、もう1つは病気の時にどの色のプレゼントをもらおうと気持ちがよくなるかという研究だった。せっかくの発表が埋もれてしまっている。今後どのように発展させていくのか大変関心をもって見ている。企業や大学などと協働してさらにより研究にしてほしい。

6 会議のまとめ

年度当初に学校が設定した「教育指導の重点及び学校経営計画」について取組状況や実践内容とその進捗状況から自己評価し、成果と課題を示した。それを踏まえて、来年度に向けての改善方策等を提案した。委員からの意見や助言をもとに教育活動を見直し、来年度の学校運営に活かしていきたい。